

# 防災まちづくりに関するアンケート ご協力のお願い

## 1. 趣旨

上落合東部まちづくりの会では、災害に強い安全・安心なまちの実現を目指して、地域の問題点を解決するために必要な取組を検討しています。この取組を『上落合東部地区まちづくり構想』として取りまとめ、今後の防災まちづくりを進めていくなかで、地域の皆様のお考えを伺いたく、アンケートを実施することとしました。現在作成中の検討案を同封しておりますので、ご一読の上、アンケートへのご協力をお願いいたします。

## 2. 対象者

上落合東部まちづくりの会の範囲内に「お住まいの方」および「土地または建物をお持ちの方」を対象に、アンケートをお配りしています。

## 3. 返送方法

本アンケート票にご記入のうえ、【平成 29 年 12 月 20 日（水）】までに、返信用の封筒によりご返送ください。

※切手は不要です。そのままポストへご投函ください。

## 4. 上落合東部まちづくりの会の範囲



## 5. これまでのあゆみ

平成 27 年度

6月	まちづくりの準備会、まち歩き参加者募集
8月	第1回まちづくりの会 『会の体制と活動内容について』
11月	まちあるき①
1月	まちあるき②

平成 28 年度

8月	第2回まちづくりの会 『地区の防災上の問題点と課題について』
11月	第3回まちづくりの会 『まちづくりの目標と今後の取組について』
3月	第4回まちづくりの会 『今後の取組について』

平成 29 年度

8月	第5回まちづくりの会 『まちづくり構想（検討案）の取りまとめに向けて』 ※詳細は裏面をご覧ください
12月	防災まちづくりに関するアンケート

↓ 今後の予定

2月	第6回まちづくりの会 『まちづくり構想（案）の取りまとめ』
----	----------------------------------



# 第5回まちづくりの会の開催報告 (平成 29 年 8 月 27 日)

第5回まちづくりの会には計 19 名の方にお集まりいただき、まちづくり構想（検討案）の取りまとめに向けて、必要な取組について意見交換を行いました。

皆さんからのご意見の一部を、以下にご紹介します。



狭い道路が多いため、セットバックを推進する必要がある。建替えに合わせて防災性を強化できることもあるのでは。



空き家の管理体制を強化したい。細街路の整備と併せて、放置されやすい奥まった土地の相続や流通がしやすくなるようなことを考えられないか。

## ■参加者の皆さんが選んだ取組の重要度と取り組みやすさ

※1人あたり2票

取組方針	重要度	取組（例）	取り組みやすさ
・4m 道路の確保に向けてセットバックを推進する	●●●●	・細街路整備事業の推進 ・セットバックに対する容積ボーナスの仕組みづくり	●
・迅速かつ安全に避難ができる道路環境をつくる	●●●●● ●●●	・避難場所への案内板の設置 ・電柱の地中化の検討 ・建替え時の電柱移設ルール	●●●●●●●● ●
・初期消火の体制を整える ・燃えにくいまちをつくる	●●●●● ●●●●●	・消火器の増設（行き止まり道路など） ・新たな防火規制の導入	●●●●●●●● ●●
・災害に対処する資機材を再点検・更新する	●●●●● ●	・消火器の定期メンテナンス・更新 ・AED の増設（店舗への設置依頼等）	●●●●●●●● ●●
・空き家や空き地等の管理体制を強化する	●●●●● ●●●●	・管理されていない空き家の改善	●●
・地域住民がお互いに心地よく暮らせるルールをつくる	●●●●● ●	・まちのマナーや暮らしの作法のルールづくり（まちづくりガイドライン）	●●●●●●●● ●
・地域住民によるまちづくり活動等の情報を発信する	●●●●● ●●	・防災資機材の格納場所や使い方、防災知識の周知 ・火災警報器・消火器・感震ブレーカー設置の促進	● ●
・地域住民による自助・共助の防災まちづくり活動を活性化する	●●●●	・防災訓練への参加促進 ・高齢者の支援体制づくり	●●●●●●●● ●



町会の掲示板をもっと上手く活用して情報発信できると良い。  
まち点検をして、地域のほっとする場所、良い場所なども探したい。

行き止まり道路などに消火器やスタンドパイプの増設を検討したい。資機材を一人一人が使えるようにしたい。



## まちづくりの会 参加者募集中！

まちづくりの会は、誰もが安全に安心して暮らせるまちを目指して活動をしています。会の主旨にご賛同いただける方は、是非ご参加ください！お待ちしております！

### ■お問合せ先

新宿区 都市計画部 景観・まちづくり課（高松、河森、川上）  
〒160-8484 新宿区歌舞伎町 1-4-1 本庁舎8階  
電話：03-5273-3569(直通) FAX：03-3209-9227



こちらから上落合東部まちづくりの情報（新宿区HP）がご覧になれます

## 上落合東部地区

# 防災まちづくりに関するアンケート

上落合東部まちづくりの会

本アンケート票に同封しております「防災まちづくりに関するアンケート ご協力をお願い」と「上落合東部地区まちづくり構想（検討案）」をご一読の上、以下のアンケートへのご協力をお願いいたします。

調査結果は、当地区のまちづくりの検討のみに使用し、他の目的に転用することはありません。

本アンケート票にお答えをご記入のうえ、【平成29年12月20日（水）】までに、返信用の封筒によりご返送ください。 ※切手は不要です。そのままポストへご投函ください。

### はじめに あなたご自身のことについてお聞きします

**問1** 年齢や世帯構成について、差し支えない範囲でご回答ください。

（①～⑤の各選択肢の該当するもの1つに○をつけてください）

#### ①現住所

1. 地区内（上落合.....丁目.....番地）
2. 地区外

※地区内にお住まいの方は、  
丁目と番地をご記入ください。

#### ②年齢

1. 10～20歳代
2. 30～40歳代
3. 50～60歳代
4. 70歳代以上

#### ③性別

1. 男性
2. 女性

#### ④世帯構成

1. 一人暮らし
2. 夫婦のみ
3. 二世帯世帯（親と子）
4. 三世帯世帯（親と子と孫）
5. その他（.....）

#### ⑤権利状況

1. 地区内に土地と建物を所有している
2. 地区内に土地を所有している
3. 地区内に建物を所有している
4. 土地と建物の所有者ではない（借家、賃貸）

※マンションを区分所有されている  
方は、「1」に○を付けてください。

## まちの防災性についてお尋ねします

**問2** 当地区の防災性には、どのような問題があると思われますか。

(各項目について、「はい」または「いいえ」の欄に○をつけてください)

	設問	はい	いいえ
建物の被害 について	1. 地震が起こった場合、老朽化した建物が倒壊して人的被害が出る恐れがある		
	2. 地震が起こった場合、ブロック塀が倒れて人的被害が出る恐れがある		
避難路 について	3. 災害時に避難場所（落合中央公園）や避難所（落合第二小学校）に安全に避難できる道路がない		
	4. 行き止まり道路が多く、避難しにくい可能性がある		
	5. 道路上の駐輪等が多く、避難しにくい可能性がある		
火災の被害 について	6. 避難場所や避難所を案内する看板など、避難に必要な情報が不足している		
	7. 木造住宅が密集しており、火災が起こると延焼する恐れがある		
資機材 について	8. 道路が狭く、消防車や救急車が入れない		
	9. 消火器などの資機材が足りない		
日常的な まちの管理 について	10. 消火器などの資機材がどこにあるか知らない、または、使い方がわからない		
	11. 管理のされていない空地や空き家が多い		
まちづくり への関心 について	12. ごみの出し方や植木の管理など、暮らしのマナーが悪い		
	13. 防災やまちづくりに関する情報が行き届いていない		
その他	14. 住民のまちへの関心が低いと感じる		
	15. その他（ ）		

## まちづくりの目標についてお尋ねします

**問3** 当地区は、どのようなまちを目指していくことが望ましいと思いますか。

(望ましいと思われるもの3つに○をつけてください)

1. 地震や火災などの災害に強いまち	8. 助け合えるまち
2. 避難しやすいまち	9. 一人ひとりの防災意識が高いまち
3. 大地震で一人も犠牲にならないまち	10. 安心して住める・住み続けられるまち
4. きれいでうるおいがあるまち	11. 若い世代も高齢者もまちづくりに参画しているまち
5. 元気で明るいまち	12. その他
6. 便利で暮らしやすいまち	( )
7. お年寄りにやさしいまち	

## 今後の防災まちづくりの進め方についてお尋ねします

**問 4** 上落合東部まちづくりの会では、地区の防災上の問題点に対して必要な取組を検討しています。今後、地区の防災性を向上させるために、どのような取組が必要だと思いますか。  
 (以下の取組について、重要度を5段階で選んで○をつけてください)

	設問	重要度				
		低い				高い
耐震化、 不燃化、 建替えの促進	1. 老朽化した建物の耐震補強や建替え	1	2	3	4	5
	2. 燃えにくい建物への建替え・不燃化	1	2	3	4	5
	3. 共同建替えなどによる狭小敷地での建替えの促進	1	2	3	4	5
避難路・ 避難場所 の確保	4. 狭い道路の拡幅(細街路の整備)による避難路の確保	1	2	3	4	5
	5. 消防車や救急車が通行できるような道路の確保	1	2	3	4	5
	6. 通行の支障となる電柱の改善	1	2	3	4	5
	7. 危険なブロック塀の除却または生垣化	1	2	3	4	5
	8. 行き止まり道路の改善	1	2	3	4	5
	9. 避難に支障をきたす路上駐輪等をなくすルールづくり	1	2	3	4	5
	10. 広場や駐車場などの一時的な避難場所の確保	1	2	3	4	5
まちづくりや 助け合いの 仕組みづくり	11. 空地や空き家の適正管理	1	2	3	4	5
	12. 住宅の建て詰まり(密集)を防ぐ仕組みづくり	1	2	3	4	5
	13. 暮らしの作法のルールづくり	1	2	3	4	5
	14. 高齢者や体の弱い人を互いに助け合う体制づくり	1	2	3	4	5
資機材の増設 や防災対策の 普及	15. 住民が扱える消火資機材(消火器、スタンドパイプ等)の増設	1	2	3	4	5
	16. 防災訓練の充実や参加の促進	1	2	3	4	5
	17. 家具転倒防止対策など各家庭での取組の充実	1	2	3	4	5
その他	18. その他  [ ]	1	2	3	4	5

**問5** ご自身では防災対策としてどのようなことを行っていますか。  
(該当するもの全てに○をつけてください)

1. 建物の耐震改修を行った
2. 建物を建て替えて耐震化した
3. 建物を火災に強い建物へと建て替え（または改築）した
4. 家具転倒防止対策などを行った
5. 日頃からご近所でコミュニケーションをとっている
6. 地域の防災訓練に参加している
7. 防災や地域の情報に意識的に目を通している
8. 特に何もしていない
9. その他 [ ]

### まちづくりの会による取組についてお尋ねします

**問6** 上落合東部まちづくりの会では、地区の防災まちづくりに関する意見交換を行っています。

①このような活動への参加のご意向について教えてください。

(該当するもの1つに○をつけてください)

- |                     |        |
|---------------------|--------|
| 1. 必要なことであり、参加したい   | 4. その他 |
| 2. 時間が合えば参加してもいい    | [ ]    |
| 3. 参加は難しいが活動内容は知りたい |        |

②まちづくりの会で、今後取り上げてほしいテーマや活動内容がございましたら、ご記入ください。

---

---

---

---

**問7** まちづくりの会で取りまとめた「上落合東部地区まちづくり構想（検討案）」に対するご意見・ご感想などあればご記入ください。

---

---

---

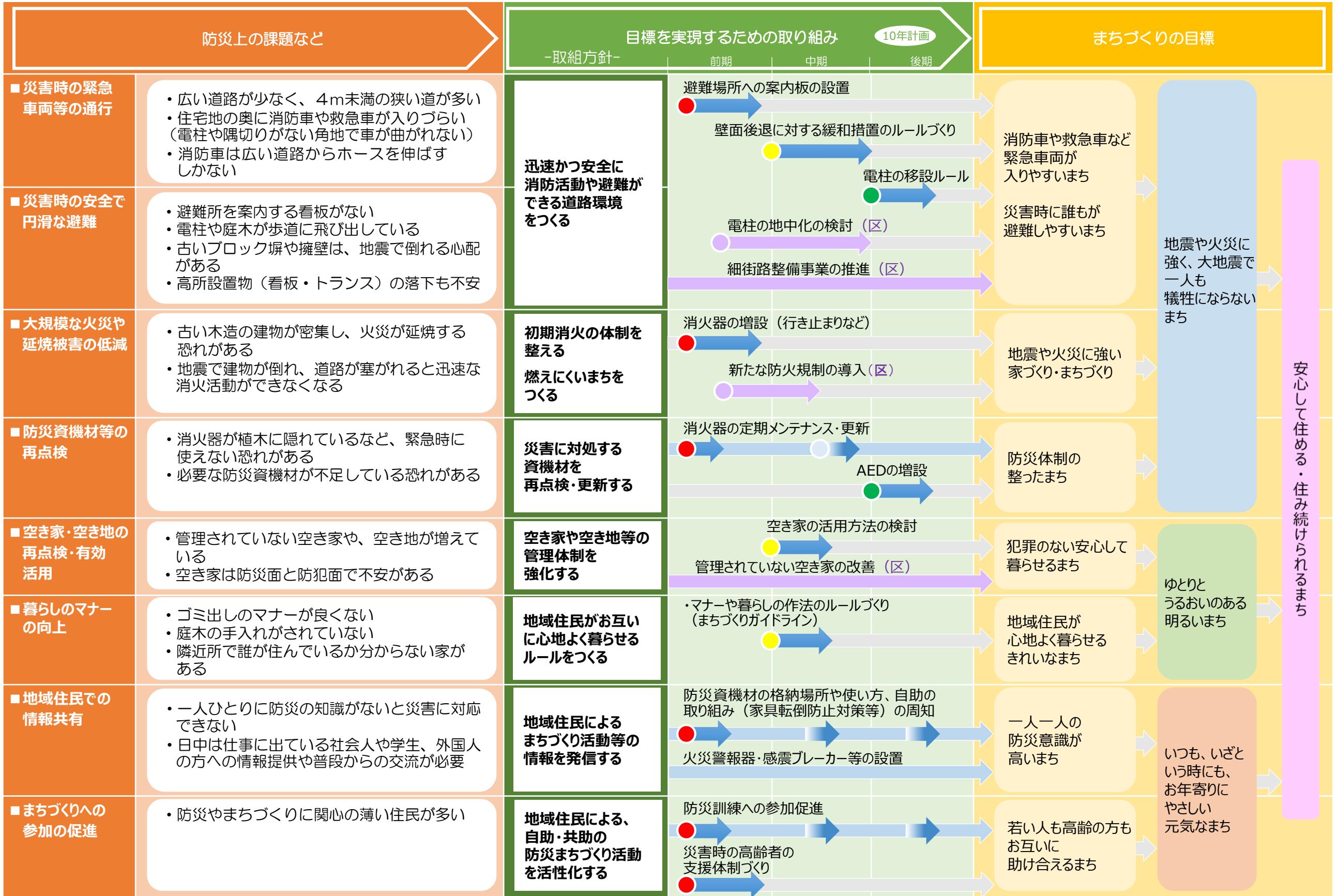
---

---

以上で設問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

# 上落合東部地区 まちづくり構想（検討案）

<これまでのまちづくりの会での皆さんからの意見をまとめたものです>



● すぐに取りかかるもの  
 ● 早目に検討を始めるもの  
 ● 時期をみて取組むもの

# 上落合東部地区の課題

<これまでのまちづくりの会での皆さんからの意見をまとめたものです>

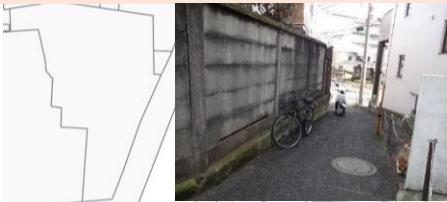
## ■ 災害時の緊急車両等の通行

- ・広い道路が少なく、4m未満の狭い道が多い
- ・住宅地の奥に消防車や救急車が入りづらい（電柱や隅切りがない角地で車が曲がれない）
- ・消防車は広い道路からホースを伸ばすしかない



## ■ 災害時の安全で円滑な避難

- ・避難所を案内する看板がない
- ・電柱が歩道に飛び出している
- ・古いブロック塀や擁壁は、地震で倒れる心配がある
- ・高所設置物（看板・トランス）の落下が不安



## ■ 大規模な火災や延焼被害の低減

- ・古い木造の建物が密集し、火災が延焼する恐れがある
- ・地震で建物が倒れ、道路が塞がれると迅速な消火活動ができなくなる



## ■ 防災資機材等の再点検

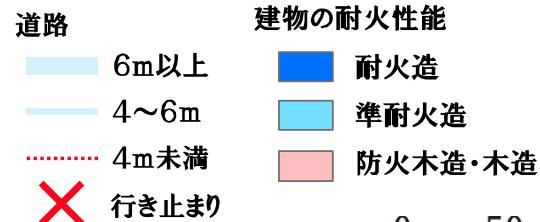
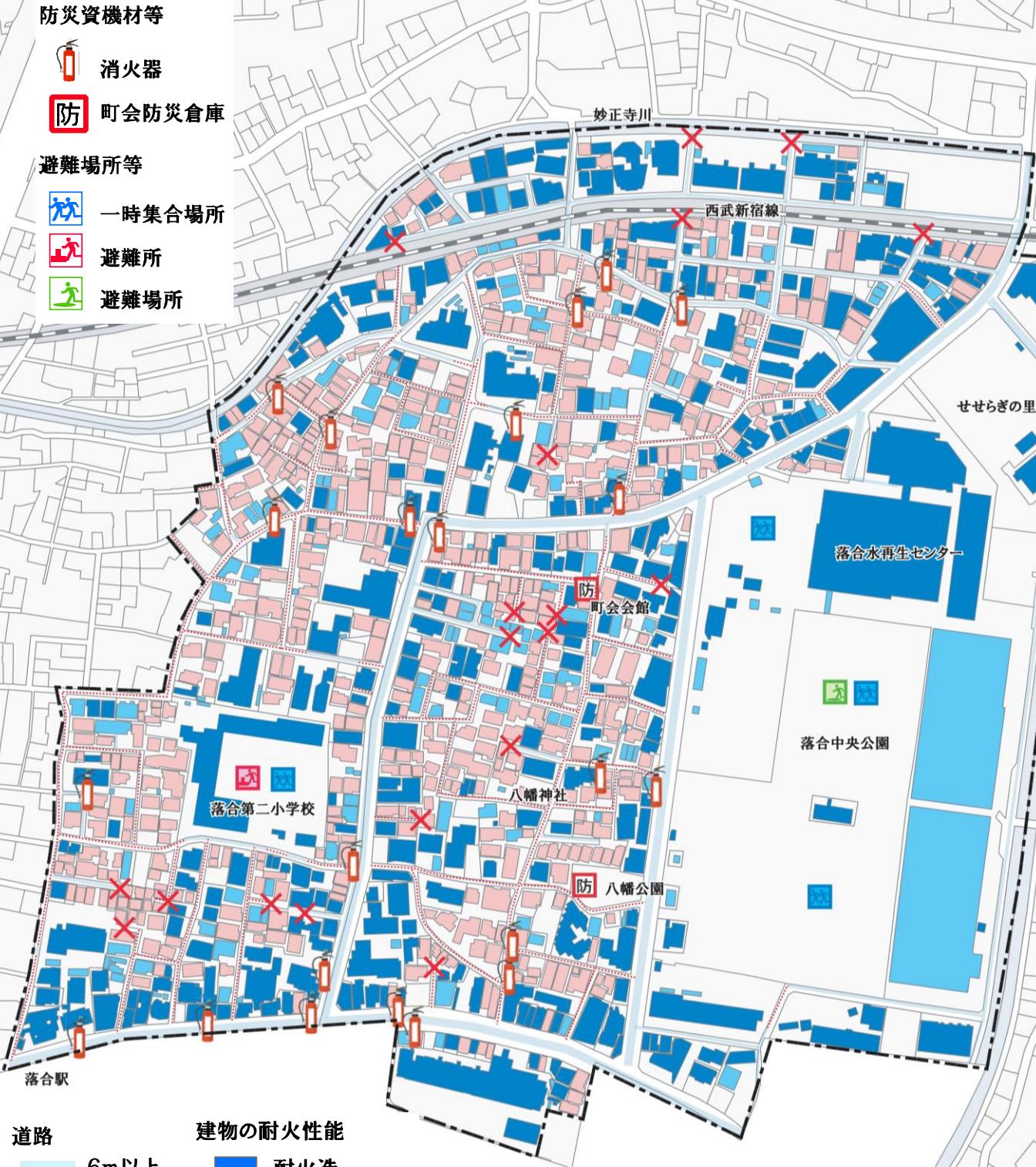
- ・消火器が植木に隠れているなど、緊急時に使えない恐れがある
- ・必要な防災資機材が不足している恐れがある

### 防災資機材等

- 消火器
- 町会防災倉庫

### 避難場所等

- 一時集合場所
- 避難所
- 避難場所



## ■ 空き家・空き地の再点検・有効活用

- ・管理されていない空き家や、空き地が増えている
- ・空き家は防災面と防犯面で不安がある



## ■ 暮らしのマナーの向上

- ・ゴミ出しマナーが良くない
- ・庭木の手入れがされていない
- ・隣近所で誰が住んでいるか分からない家がある

## ■ 地域住民での情報共有

- ・一人ひとりに防災の知識がないと災害に対応できない
- ・日中は仕事に出ている社会人や学生、外国人の方への情報提供や、普段からの交流が必要



## ■ まちづくりへの参加の促進

- ・防災やまちづくりに関心の薄い住民が多い

